

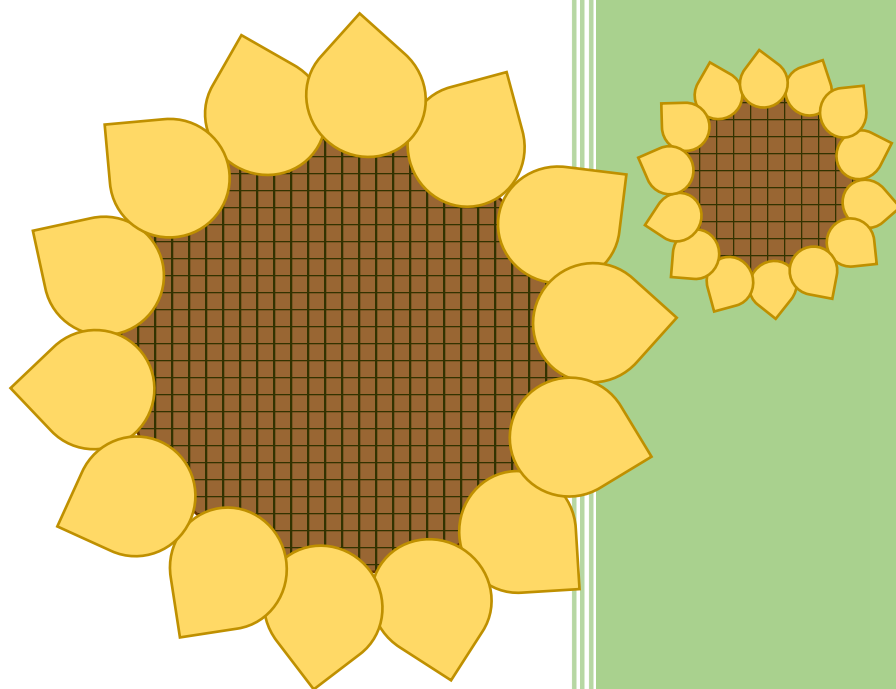


保存版

2020

旭が丘地区まちづくり計画

～ 未来への世代に引き継げるまちを
みんなで作ろう！～



旭が丘地区まちづくり協議会

2020年3月

目次

旭が丘地区が住みよいまちであるために	2
1 まちづくりの基本目標	3
2 旭が丘地区の姿	4
(1)地区の位置や人口等	4
(2)地区の人口推移や人口構成の変化	5
(3)住民の意識（アンケート結果より）	6
(4)まちの宝物と課題(アンケート結果より)	12
3 計画推進にかかる旭まち協の組織体制	13
4 各部会の目的・重点取組と活動方針	14
(1)目的・重点取組	14
(2)4年間の活動方針	15
総務・広報部	16
生活福祉部	17
文化部	18
安全部	19
【参考】4年間の活動方針にかかるワークショップのまとめ	20
《総務・広報部》	20
《生活福祉部》	23
《文化部》	25
《安全部》	27

旭が丘地区が住みよいまちであるために

(略) これからの人口減少、少子高齢化と共に市の財政が厳しくなると言われて久しいかとおもいます。

そのような状況の中で今までのように全てを市に委ね続けるのは困難であることは明白です。

今、旭が丘地区にいる皆さんが、旭が丘に住んで良かった、これから生まれてくる子供たちが、旭が丘に生まれて良かった、と思うまちをつくりあげるにはどのような体制や取り組み方が良いのかを2年間検討重ねてきました結果、本日皆さんに提案できる協議会までたどり着きました。

次の世代の人達に旭が丘の「住みよい、住んでよかった」を引継ぎができる旭が丘地区を築きたいと思います。

(平成30年5月20日、旭が丘地区まちづくり協議会設立総会、当時の水谷哲生会長の挨拶より)

今の旭が丘地区を良い状態で子どもや孫たちに引き継いでいくために、何が必要なのか、そして私たちの力で何ができるのかを考え、「旭が丘地区まちづくり計画」としてまとめました。

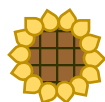
昔から住んでいる人、最近引っ越しをしてきた人など、生活スタイルや価値観はそれぞれですが、子どもから大人まで、旭が丘地区に住む一人として、まちのことを考え、できるところから何かに取り組むことが、まちづくりの一步ではないかと思います。

みんなで力を合わせて、住みよい旭が丘をつくりましょう。



旭が丘地区まちづくり協議会

1 まちづくりの基本目標



旭が丘地区まちづくり協議会(略称「旭まち協」)は、住民の手によるまちづくりを進めていくために「スローガン」と「目標」を掲げています。

《《《 スローガン 》》》
旭が丘地区の住みよい環境を更に高め
未来への世代に引き継げる地域を
みんなでつくろう！

《《《 目 標 》》》

- 地域の振興、住民の交流、啓発を高める
- 地域が連携した安全で安心なまちづくり
- 健康及び福祉の増進
- 青少年の健全育成ができる取り組み
- 文化・スポーツの推進
- 協議会の広報活動と人材の発掘

この目標の実現には、旭が丘地区の現状を踏まえ、宝物を生かしながら、計画的にまちの活性化や課題解決に取り組んでいく必要があります。

2 旭が丘地区の姿

(1)地区の位置や人口等



【地区旗】

意匠：ひまわり

意味：広野に夏の太陽をうけてたくましく咲くひまわりの花。この地にふさわしい。地色「あお」は天をあらわす青色、ひまわりは明るい花を表現した。

(引用：市民体育祭地区旗説明資料より)

◇世帯数

約 5,500 世帯

◇人口

約 13,300 人 (うち、男：約 6,400 人、女：約 6,900 人)

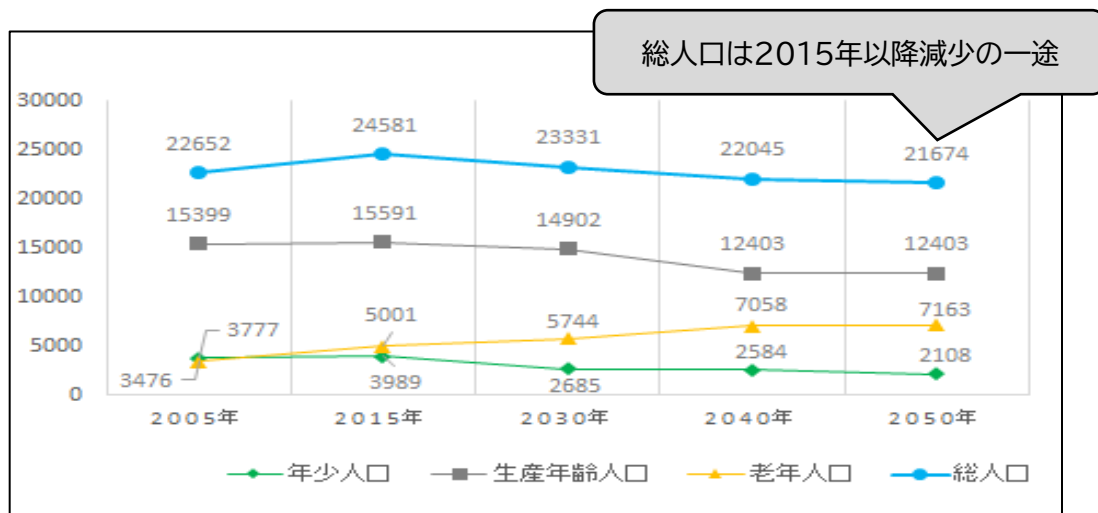
(データ：令和元年12月末 住民基本台帳データを参照)

◇地区内の自治会

東旭が丘一丁目	東旭が丘二丁目南	東旭が丘三丁目
東旭が丘みさわ	イトーピア東旭が丘	アトレ旭が丘
高専宿舎	コモンシティ東旭が丘	東旭が丘四丁目北
東旭が丘四丁目西	東旭が丘四丁目東	東旭が丘五丁目
東旭が丘六丁目	東旭が丘七丁目	箱塚生水
北花野	中花野	南花野
中旭が丘一丁目	中旭が丘二丁目	中旭が丘三丁目
中旭が丘四丁目	スカイハイツ	ハイツ旭が丘
新中旭が丘	南旭が丘一丁目	南旭が丘二丁目南
南旭が丘二丁目西	南旭が丘二丁目北	南旭が丘三丁目
ラウムズ白子		

(2)地区の人口推移や人口構成の変化

鈴鹿市内でも人口が多い旭が丘地区ですが、下のグラフのように人口は減り、人口全体に占める働き手世代や18歳以下の子どもたちの割合も低くなっていくことが予想されています。

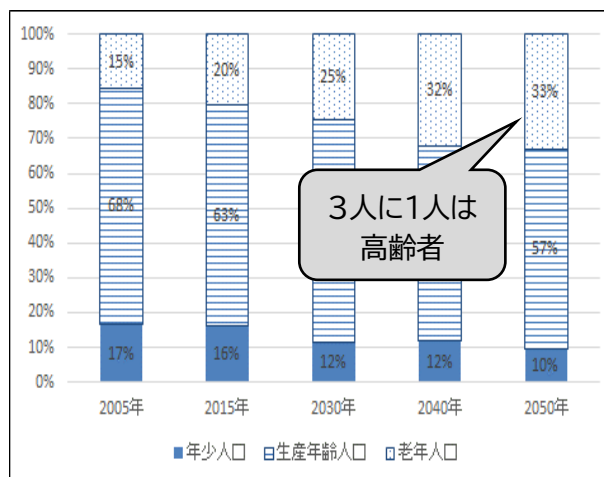


これまでも、旭が丘地区では、自治会活動や小地域福祉活動(※)、子どもの健全育成にかかる活動、防災訓練、盆踊りなど、住民自らの手で住みよい地域にしていくための活動が行われています。

しかし、今、当たり前のようにある下校時の見守りも、無理なく継続していくための方策を考えなければ、活動は続けられなくなってしまうかもしれません。

防災訓練も、大規模災害時の長期にわたる避難に備え、住民一人ひとりや各自治会の防災意識を高める必要があるでしょう。

そのような中、地区自体が対策を講じていくためには、「今、何に手を打たなければならないか」「どのようにしたら、活動を継続できるか」を考え、実現に向けて計画的に取り組むことが必要となってきます。

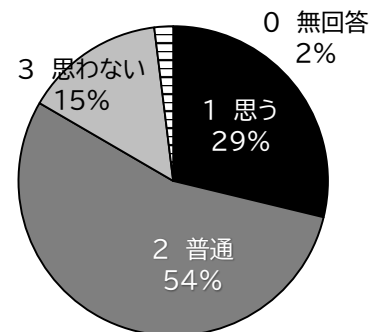
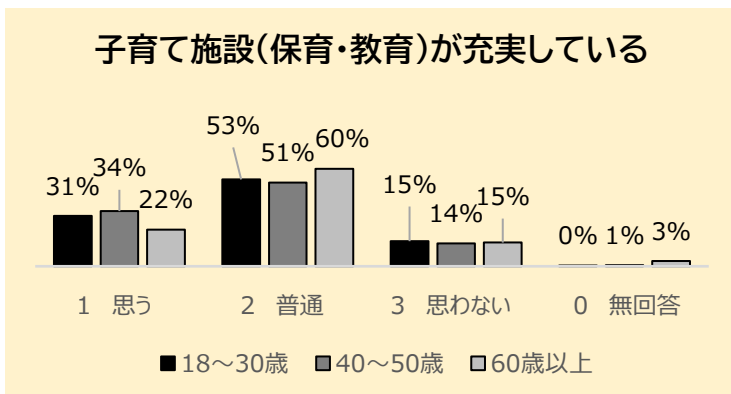
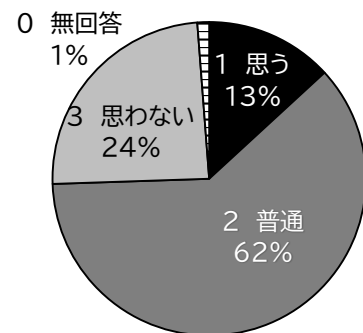
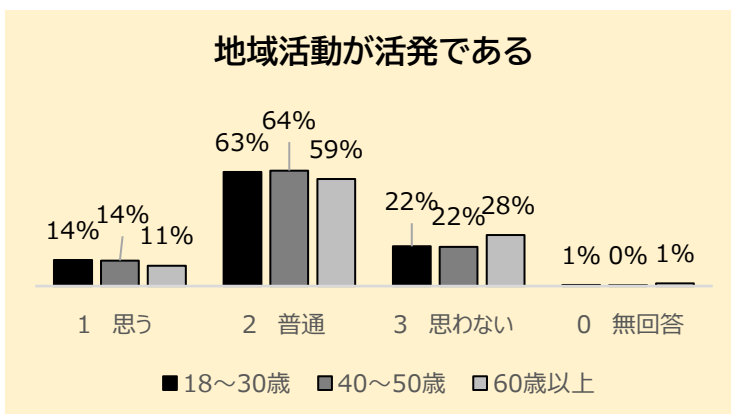
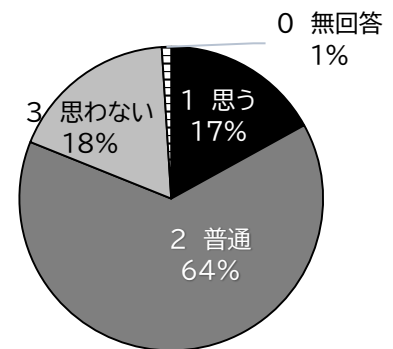
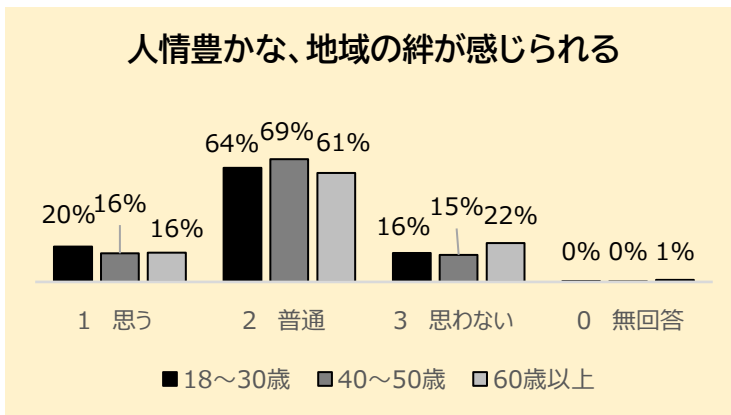


※小地域福祉活動は、地区社会福祉協議会等による住民の自発的な共助活動を言います。

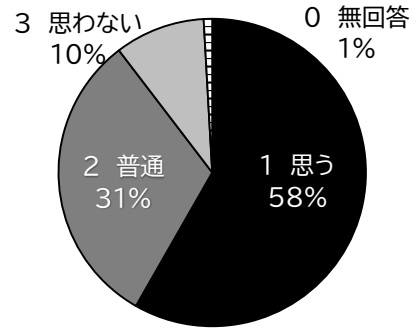
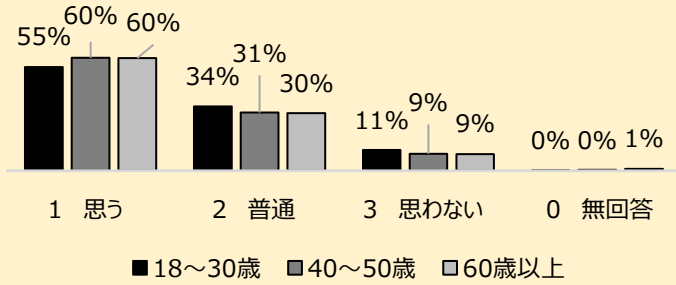
(3)住民の意識 (アンケート結果より)

旭が丘地区では、まちづくり協議会の立ち上げにあたり、平成29年3月に18歳以上の住民の皆さんを対象としたアンケート調査を行いました。(回収率52.9%)
結果とそこから伺える傾向は以下のとおりです。

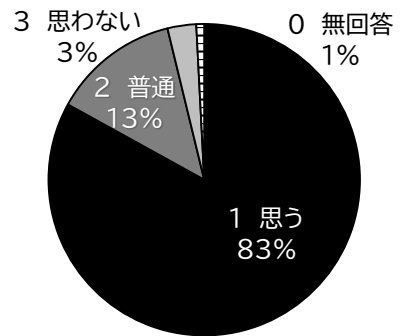
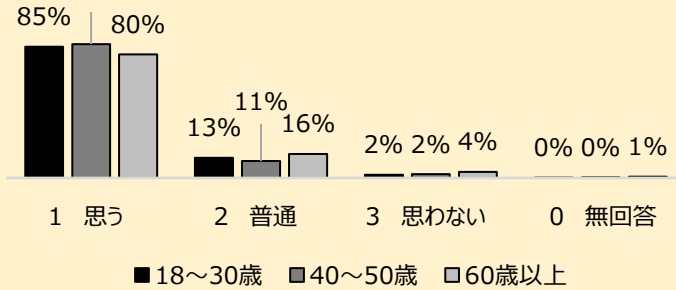
➤ 住民の皆さんが思う旭が丘地区の姿



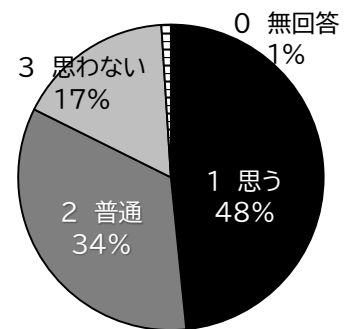
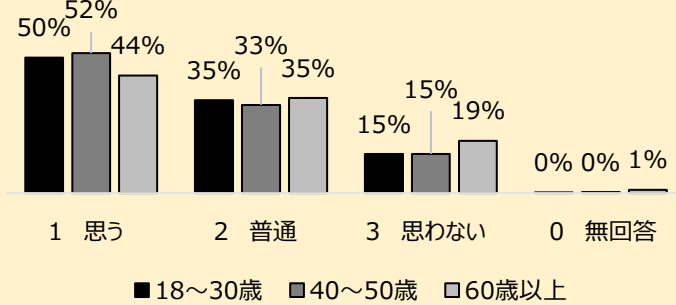
医療機関が充実している



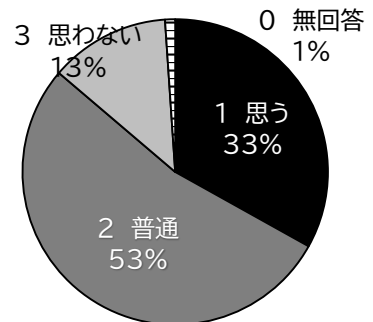
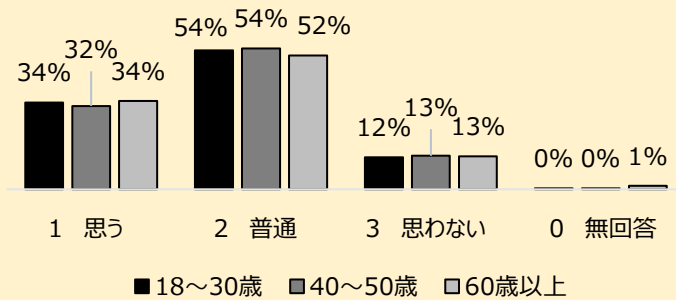
日常生活(買い物など)に便利



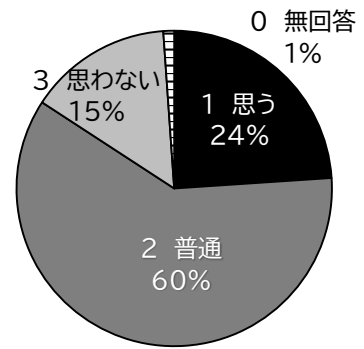
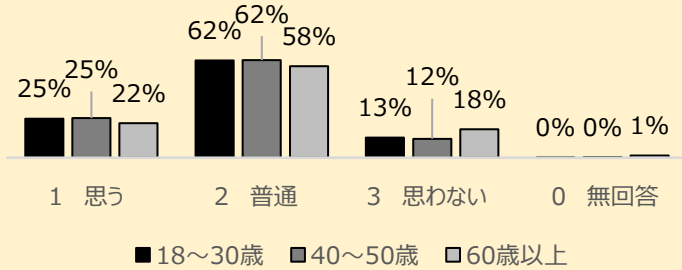
交通の便など移動がしやすい



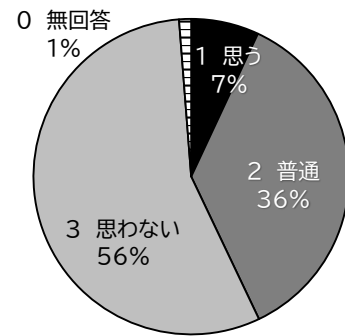
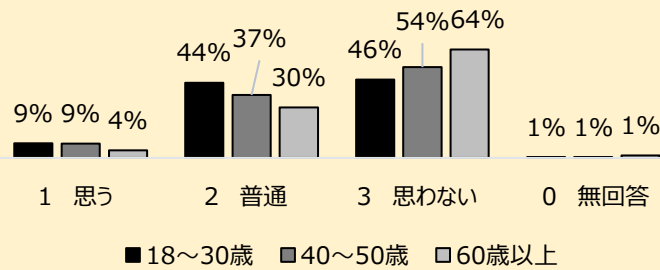
安全安心して暮らせる(交通安全・防犯)



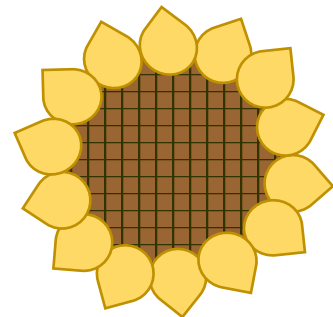
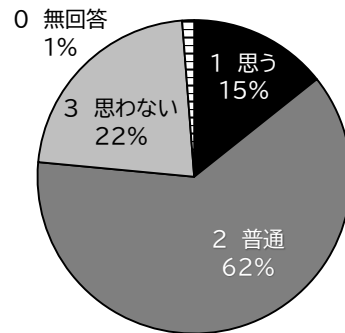
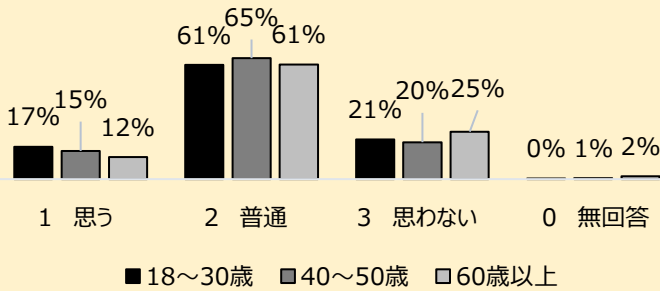
お年寄りが安心して暮らせる



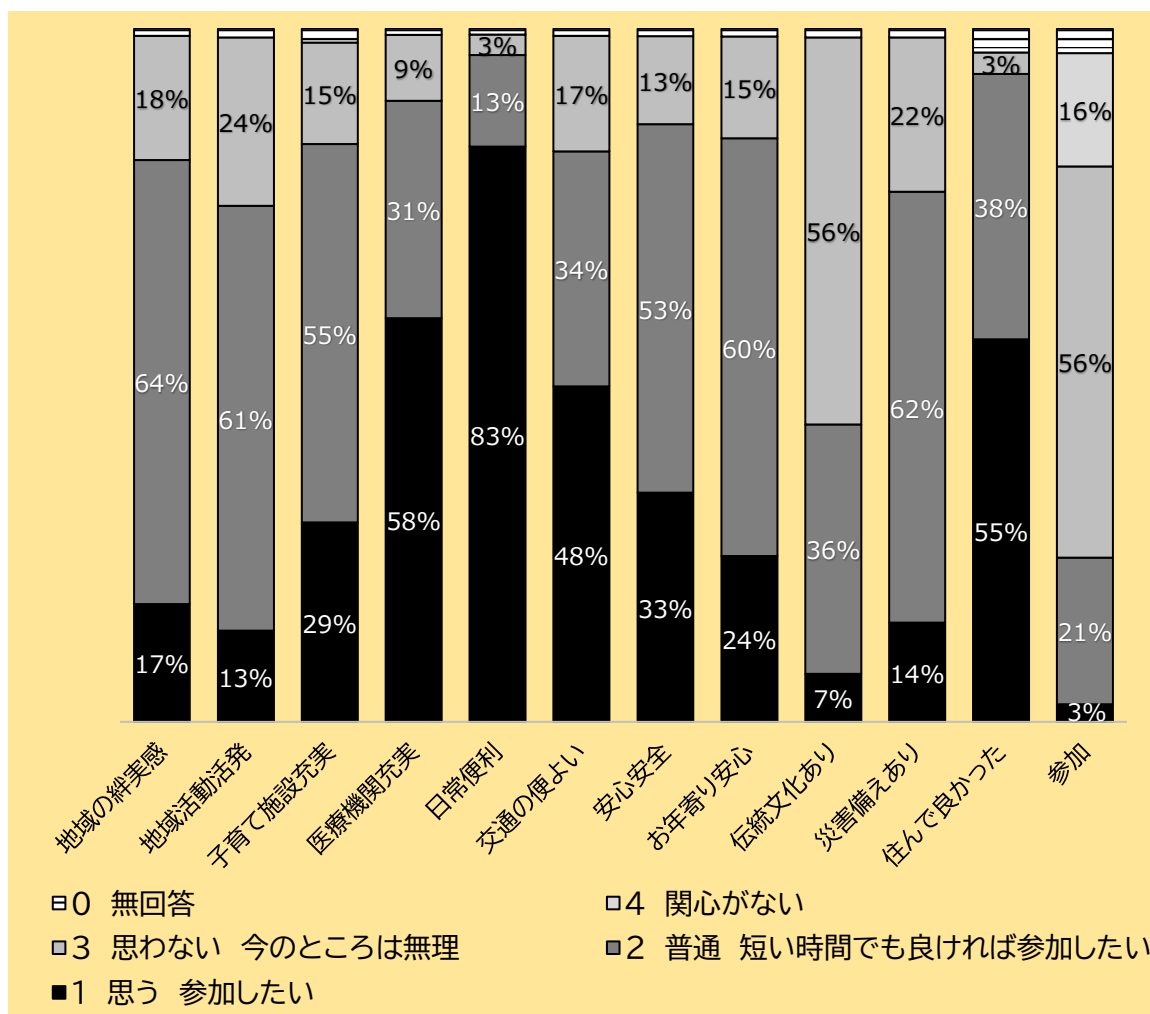
祭りなど文化・伝統がある



災害に対する備えが充実している



【住民の皆さんが思う旭が丘地区の姿】



全体として、

【1位】 日常生活(買い物など)に便利

【2位】 医療機関が充実している

【3位】 交通の便など移動がしやすい

であり、回答者の半数以上が「住んでよかった」と感じていることが伺えます。

一方で、

【1位】 祭りなどの文化・伝統がない(少ない)

【2位】 地域活動が活発ではない

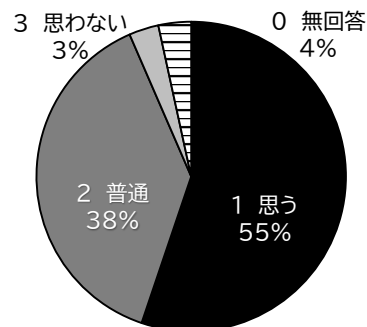
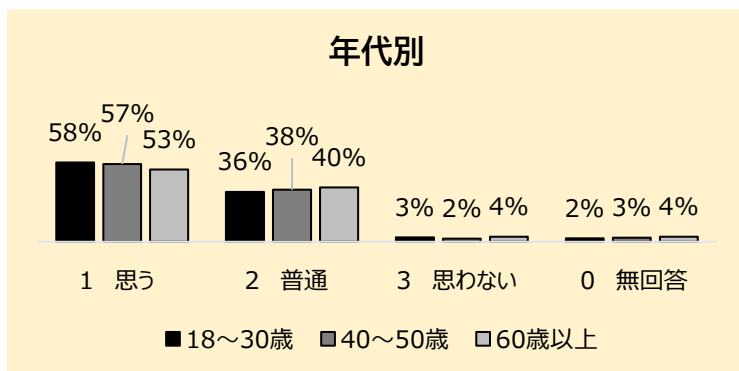
【3位】 災害に対する備えが不足している

【4位】 人情の豊かさや地域の絆があまり感じられない

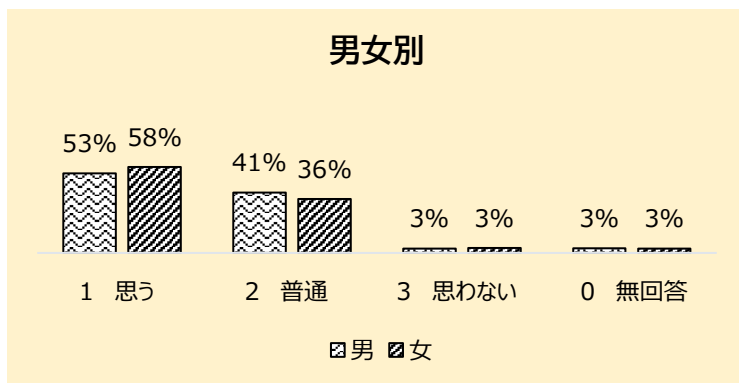
【5位】 お年寄りが安心して暮らせない

など、約8割の方々が答えており、身近な生活における気持ちの上での安心感や、具体的な備えの実感がかかなり薄いことが伺えます。

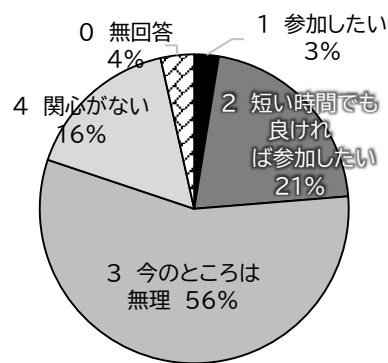
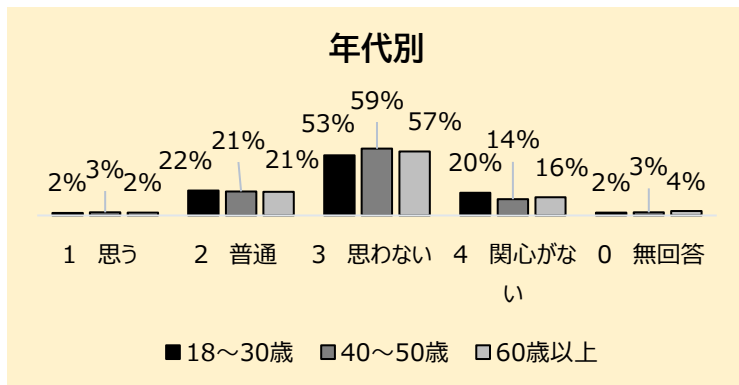
➤ 旭が丘に住んでよかったと思う住民の割合



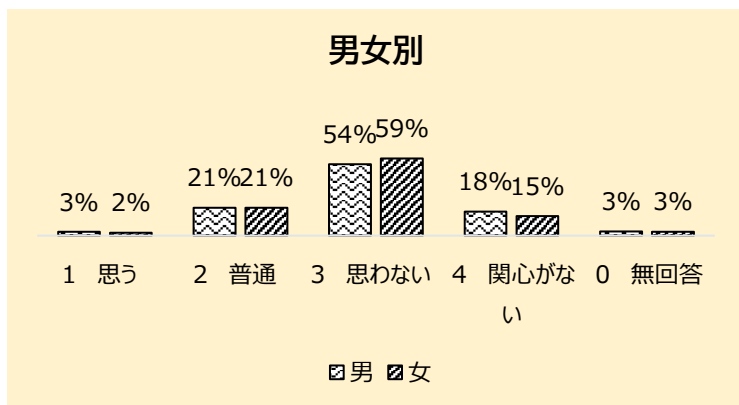
年代別・男女別のいずれも、半数以上が「よかった」と答えていますが、年代が高くなるほど「普通」が同割合となっています。その原因が気になるところです。



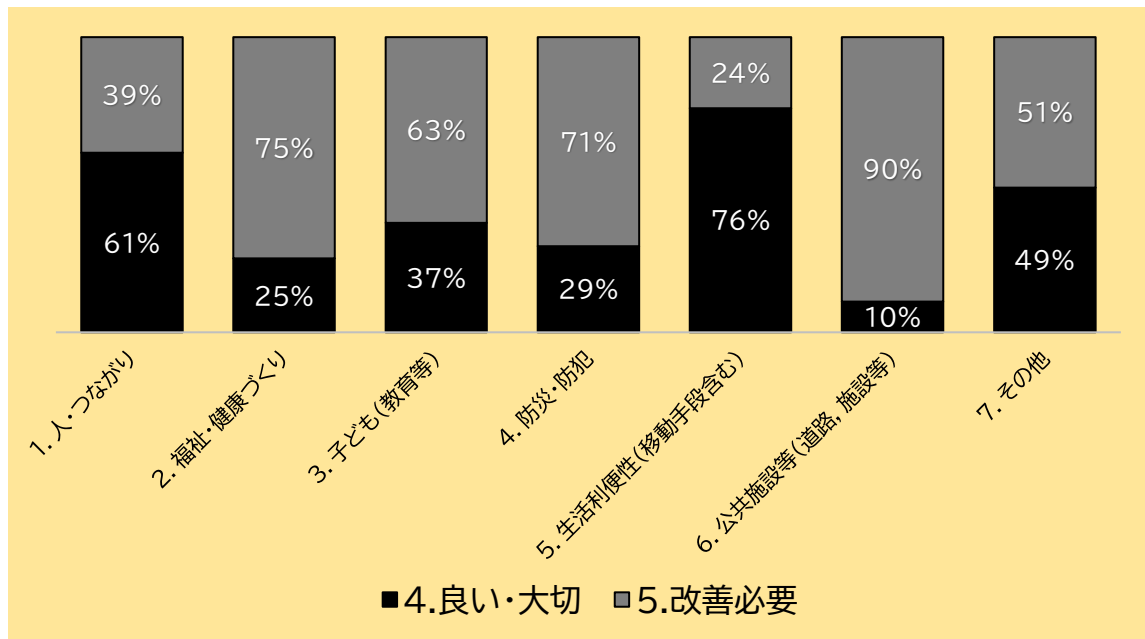
➤ まちづくり活動に参加してみたいと思う住民の割合



年代別・男女別のいずれも「参加してみたいと思わない」が半数を占めていますが、一方で積極的な姿勢も約25%あり、できる範囲での地域の関わりが期待されます。



➤ 旭が丘地区の良い(大切にしたい)と思うところ、改善したいと思うところは、
 どんなところですか？



「まち全体」については、スーパーや医療機関、学校等が身近にあり、きれいで閑静であることから、生活利便性は良いという声が多くなる一方で、バス停の遠さや、大きな医療機関や公共施設への直通バス路線のなさなど移動手段に関する不安の声や、道路の狭さや歩道の整備を求める声が多くありました。

「人」については、比較的穏やかでモラルが高く、適度な交流があって良いと感じる一方で、干渉しすぎない関係を望むなど、人と人の距離感に微妙な課題があることが伺えます。

「福祉や防災防犯」については、高齢者や子どもの見守りについて不安感が高く、交通安全対策も含めて取組が必要と感じている方が非常に多いことが伺えます。

「防災」については、不安感はあるながら標高が高い地形であるため安心と感じている傾向があり、これをどう捉えるかが課題と思われます。

「子ども」については、日頃の地域住民による見守り活動への感謝や安心感が高いことが伺えます。

「交通安全」については不安感が非常に高く、車等への対策のほかに子どもに対する教育の必要性についても声が多くあります。

(4) まちの宝物と課題(アンケート結果より)

アンケート結果を踏まえて、住みよい旭が丘地区づくりのための

「宝物」… これからも大切にしていきたいこと

「課題」… 困っていることや足りないこと

を、次のようにまとめました。

【宝物】

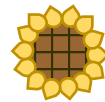
- ◇ 子どもが多く元気であること
- ◇ 買い物や移動に便利な生活環境
- ◇ 人と人との適度なつながり
- ◇ 地区内のふれあいや交流(主に盆踊り)
- ◇ 登下校時の見守りやあいさつ
- ◇ 教育施設の多さ

【課題】

- ◇ 道路の狭さや歩道の整備
- ◇ 子どもや一人暮らし高齢者等への見守り
- ◇ 増え続ける空き家
- ◇ 病院等への移動手段の確保
- ◇ 交通マナーの悪さ等への交通安全対策や防犯・防災面の不安
- ◇ 旭が丘公民館の老朽化と狭あい化

まちづくりを進めるにあたり、今ある「宝物」を生かして、良いところは伸ばし大切にしていくこと、「課題」はみんなで対策を考え、できるところから解決に向けて取組を始めることが、大切です。

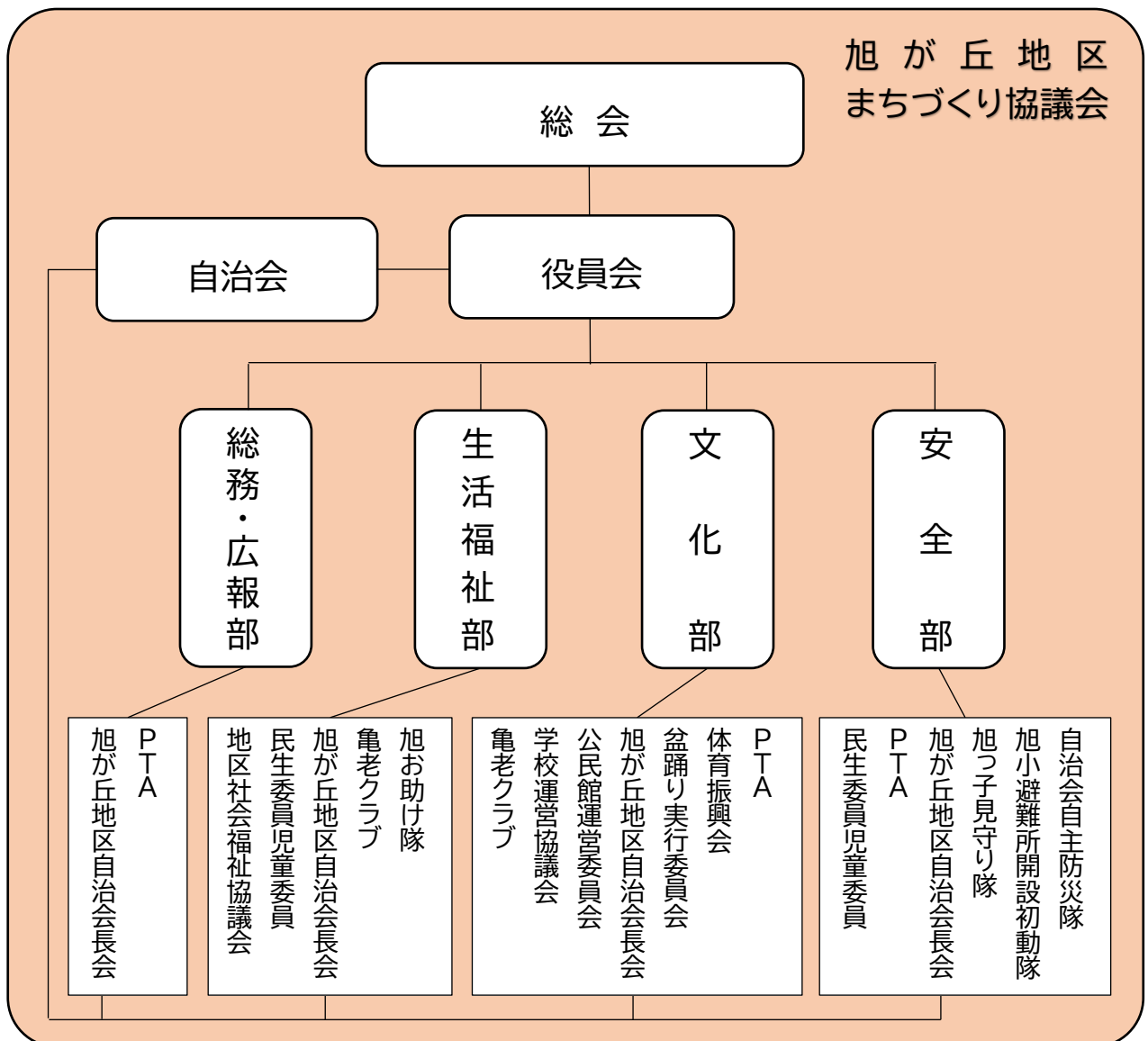
3 計画推進にかかる旭まち協の組織体制



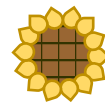
旭まち協は、小学校区を区域として、「住みよい旭が丘地区づくり」を目的に、住民の皆さんや各自治会、各団体等がお互いに横のつながりをもって協力して活動するための組織です。

本計画の推進体制は下記のとおりです。

3ページに掲げる目標の実現に向けて、みんなで知恵を出し合い、工夫し、お互い様の気持ちで、できるところから活動していきましょう。



4 各部会の目的・重点取組と活動方針



(1) 目的・重点取組

まちづくりを進めるにあたり、旭まち協の各部会は、住民アンケートや協議会立ち上げ時の協議を踏まえ、各部の目的と重点取組を掲げています。

総務・広報部	
部の目的	旭が丘地区まちづくり協議会全般の運営に関する活動の把握
重点取組	① 広報活動・渉外活動及び事務処理
	② 中期地域計画の立案
生活福祉部	
部の目的	旭が丘の各団体と協議して、地域福祉の向上に努める
重点取組	① 高齢者支援活動
	② としごろ会サロンの継続
	③ 住民の支え合いによる支援活動(普段の暮らしのサポート)
文化部	
部の目的	地域住民のふれあいを大切にするまちづくり
重点取組	① 盆踊り大会
	② 地域住民のふれあい
	③ 土曜学習活動による、児童と地域住民とのふれあい
	④ 小運動会の実施
安全部	
部の目的	住民誰もが安全で安心してくらすことのできるまちをつくり、地域の宝である子どもを地域全体で健やかに育てていく
重点取組	① 防犯に関する活動
	② 交通安全に関する活動
	③ 学校との連携活動
	④ 防災に関する活動

(2)4年間の活動方針

令和2年度から令和5年度の4年間で各部会の重点取組を進めていくための方策について、令和元年10月・11月に協議会の構成団体の参加による地域計画策定ワークショップを行いました。

その内容を踏まえ、旭が丘地区のまちづくりを推進するための活動方針として、主な内容をまとめました。

今後は、この方針に基づき、人と人、団体と団体など、つながりや連携を大切にしながら、住みよい旭が丘地区づくりに向けて、旭まち協を中心に住民自らの力で、できるところから検討や活動を進めていくものとします。

また、本計画を進めていくにあたり、年度ごとに取組内容を検証し、役員会の承認をもって見直すことができるものとします。



総務・広報部

目標『旭まち協の活性化を目指します』

重点取組① 広報力アップ事業

内容	小学校PTAと連携し、地域活動に関する情報をまとめて発信するなど、地域の様々な活動をわかりやすく伝えるとともに、まちづくりへの関心を高め、子どもから大人まで幅広い世代に親しんで読んでもらえるような広報紙づくりを目指します。
----	---

重点取組① 連携・総務事業

内容	小学校PTAと旭まち協各部のつながりを強化し、小学校を中心としたまちづくりの推進を目指します。 また、旭まち協の事務局体制を整えます。
----	--

重点取組② 中期地域計画の進捗管理と自治会長会との連携

内容	各部会の進捗管理と部会間連携を促すとともに、自治会長会との連携を強化し、まちづくり活動の促進を図ります。
----	--

生活福祉部

目標『旭が丘の各団体と協議し地域福祉の向上を目指します』

重点取組

①+③

住民の支え合いによる高齢者支援活動

内容

身近に助け合えるなど、高齢者等の普段の暮らしのサポート及び見守りに向けて「旭お助け隊(※)」の活動の定着を図ります。

また、支える住民の生きがいの場づくりを目指します。

※「旭お助け隊」は、有償による住民同士の助け合いの事業です。

重点取組② としごろ会サロンの継続

内容

サロンのネットワークを構築し、サロン事業の拡充を目指すとともに、団体間の交流や世代間交流を図ります。



文化部

目標『地域住民のふれあいを大切にするまちづくりを進めます』

重点取組① 盆踊り大会

内 容

盆踊り大会の実施を通じて、子どもからお年寄りまで多世代にわたる地域住民同士のふれあい・つながりアップを目指します。



重点取組② 地域住民のふれあい

内 容

誰もが手軽に取り組めるウォーキングを通じて、住民同士の交流と健康増進を図るとともに、旭が丘の魅力の発見へのきっかけをつくります。

重点取組③+④ 土曜学習活動による児童と地域住民とのふれあい及び小運動会の実施

内 容

小運動会等を通じて、多世代の交流と、楽しみながらの健康づくりを目指します。

安全部

目標『住民誰もが安全で安心してくらすことのできるまちをつくり、地域の宝である子どもを地域全体で健やかに育てていきます』

重点取組 ①+②+③ 防犯・交通安全に関する活動、学校との連携活動

内容

小学校と地域が「まちの安全」を目的に、みんなで子どもたちを守るとともに、子どもたちの健やかな成長へのサポート体制づくりを目指します。

重点取組④ 防災に関する活動

内容

自治会や各団体・各委員の防災意識の向上と連携強化を図るため、旭が丘地区防災計画の策定を目指します。



【参考】4年間の活動方針にかかるワークショップのまとめ

それぞれの取組予定は、ワークショップで出されたアイデアです。
このアイデアを参考に、各部の活動を進めていく予定です。

《総務・広報部》

重点取組	① 広報力アップ事業			
活動方針	小学校PTAと連携し広報活動を強化する			
期待する効果	小学校PTA活動を含めた地域活動に関する情報を把握し、幅広い年代に親しまれる広報紙を作成することで、学校と地域の連携によるまちづくりを進めることが期待できる。			
連携する部会等	小学校PTA 全部会	小学校PTA 全部会	小学校PTA 全部会	小学校PTA 全部会
実行計画				
計画年次	2020	2021	2022	2023
取組予定	<p>◆年間行事お知らせカレンダーの作成 ・構成団体の年間行事を調査しまとめる。</p> <p>◆広報紙レイアウト等の検討 ・他地区等の事例を収集し研究する。 ・年代別に二つの高い情報の配置。 ・子どもに関する情報や、活動のスタッフに焦点を当てた情報の掲載。</p>	<p>◆情報収集ルールの検討</p> <p>◆新レイアウトでの発行</p>	<p>◆情報収集ルールの見直し</p> <p>◆レイアウトの見直し</p>	<p>◆年間行事お知らせカレンダーの見直し</p> <p>◆発行回数や掲載内容の見直し</p>

《総務・広報部》

重点取組	① 渉外活動及び事務処理			
活動方針	小学校PTAと旭まち協各部とのつながりを強化し活動の連携を図るとともに、事務局体制を整える			
期待する効果	<p>小学校PTAと旭まち協各部が連携することにより、旭まち協による小学校PTAサポート体制が生まれるとともに、小学校と地域との連携が強化されることが期待できる。</p> <p>また、事務局体制により役割分担が明確になり事務手続き等が円滑になることが期待できる。</p>			
連携する部会等	小学校PTA保護者部・広報部、安全部	小学校PTAのOB		
実行計画				
計画年次	2020	2021	2022	2023
取組予定	<p>◆小学校PTAと旭まち協各部とのつながりをつくる</p> <p>・PTA各部が関連する部会の会議に出席し、情報共有する。</p> <p>保護者部 ⇒安全部 広報部 ⇒総務広報部</p> <p>◆事務局体制を稼働</p>	<p>◆小学校PTAと旭まち協との事業連携を検討する</p> <p>・PTAと各部が現在の事業を棚卸し、連携を検討する。</p> <p>◆事務局体制の見直し</p>	<p>◆連携事業を実施してみる</p> <p>◆事務局体制の改善</p>	<p>◆連携事業を見直し、改善策等を検討する</p> <p>◆事務局体制を稼働</p>
				

《総務・広報部》

重点取組	② 中期地域計画の進捗管理と自治会長会との連携			
活動方針	事業中間報告会を実施し、各部会の進捗管理と部会間連携を促すとともに、自治会長会との連携を強化しまちづくり活動の促進を図る			
期待する効果	各部会の事業執行状況を踏まえ、事業計画実施にかかる見直しや調整を図り、活動の改善や活動しやすい組織体制の構築を進めていくことができる。 また、自治会長会との連携により地域一体となった取組を促進していくことができる。			
連携する部会等	全部会、自治会	全部会、自治会	全部会、自治会	全部会、自治会
実行計画				
計画年次	2020	2021	2022	2023
取組予定	<p>◆中間報告会の開催 ・年度半ばに中間報告会を開催し、予算執行状況のチェックと改善を検討する。</p> <p>◆自治会長会との情報共有</p>	<p>◆中間報告会の開催 ・さらに事業実施のチェックと改善を検討する。</p> <p style="text-align: center;">→</p>	<p>◆中間報告会の開催 ・さらに部会連携のチェックと改善を検討する。</p> <p>◆自治会長会との地域課題検討</p>	<p>◆中間報告会の開催 ・さらに組織体制のチェックと改善を検討する。</p> <p style="text-align: center;">→</p>



《生活福祉部》

重点取組	①+③ 住民の支え合いによる高齢者支援活動				
活動方針	普段の暮らしのサポート及び見守りに向けて「旭お助け隊」の活動の定着を図る				
期待する効果	身近で助け合えるシステムを立ち上げることで、一人暮らし等の高齢者や離れて暮らす家族にとっての安心と、支える住民の生きがいやりがいにつながることを期待できる。				
連携する部会等	伊勢マリンホーム				
実行計画					
計画年次	2020	2021	2022	2023	
取組予定	<p>◆事業の実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行期間の振り返り 	<p>◆1年目の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善点の情報共有 ・今後の事業の方向性を検討 ・商業施設との連携(買い物バスツアー) 	<p>◆支援内容の拡充を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動範囲を広げる ・伊勢マリンの協力を協議する 	<p>※支援人員の確保に努める</p>	



《生活福祉部》

重点取組	② としごろ会サロンの継続			
活動方針	サロンネットワークに取り組む			
期待する効果	地域内のサロン活動の連携を図ることで、活動の継続及び活動の質の向上や、高齢者同士及び多世代との交流促進を期待することができる。			
連携する部会等		社会福祉協議会	文化部(PTA)	
実行計画				
計画年次	2020	2021	2022	2023
取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ◆サロン同士の情報共有 ・サロン活動発表会 ・他のサロン見学 ・サロンの集い ・サロンリーダーの養成講座 <ul style="list-style-type: none"> ◆他市の事例調査 	<ul style="list-style-type: none"> ◆仕組みづくり ・5団体のサロン代表者の集まりを行う <li style="text-align: center;">↓ 自分たちでできることを確認して企画していく(サロン拡充も検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆小さなイベントを試行 ・2、3団体による小さなイベントを開催 <li style="text-align: center;">↓ 連携による課題等の確認(子どもたちとの連携も検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆サロンネットワークの構築 ・3年目の情報をもとに世代間交流を目的に大きなイベントを行う <li style="text-align: center;">↓ 人員確保 <li style="text-align: center;">↓ サロンの拡充も目指す
		→		



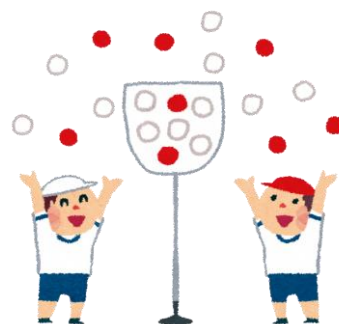
《文化部》

重点取組	① 盆踊り大会			
活動方針	地域住民のふれあいアップを図る			
期待する効果	恒例となっている盆踊り大会を実施することにより、子どもから高齢者まで多世代にわたり楽しみながら住民同士のふれあい・つながりを深めていくことが期待できる。			
連携する部会等	全部会、自治会	全部会、自治会	全部会、自治会	全部会、自治会
実行計画				
計画年次	2020	2021	2022	2023
取組予定	◆盆踊り大会の開催 ・内容の充実を図る ・小学生のポスター掲示について場所や方法を検討する			
	参加目標 1,500人	参加目標 1,500人	参加目標 1,800人	参加目標 2,000人

重点取組	② 地域住民のふれあい			
活動方針	ウォーキングでふれあいアップを目指す			
期待する効果	手軽に取り組めるウォーキングによって、住民交流・健康増進・まちの魅力発見につなげることが期待できる。			
連携する部会等	全部会、自治会	全部会、自治会	全部会、自治会	全部会、自治会
実行計画				
計画年次	2020	2021	2022	2023
取組予定	◆ウォーキング 2020 ・旭が丘のマップを見て旭まち協役員と委員で歩いてみる	◆ウォーキング 2021 ・役員で検討 ・地域住民に広げる ・参加賞等を検討	◆ウォーキング 2022 ・ウォーキング途中に付加価値をつける (例)どんぐり拾い、軽スポーツ(御座池公園)	◆ウォーキング 2023 ・他地区のマップを活用する ・高専・医療科学大学に協力を求めて内容の充実を図る

《文化部》

重点取組	③+④ 土曜学習活動による児童と地域住民とのふれあい、小運動会の実施			
活動方針	小運動会でふれあいアップを目指す			
期待する効果	多世代の交流と、楽しみながらの健康づくりにつなげることができる。			
連携する部会等	全部会、自治会	全部会、自治会	全部会、自治会	全部会、自治会
実行計画				
計画年次	2020	2021	2022	2023
取組予定	<p>◆小運動会 2020</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技内容 (例)スポーツ玉入れ ・参加者の把握 回覧など ・周知方法 みかん狩り名簿の活用など ・アンケート調査 	<p>◆小運動会 2021</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容を検討 ・参加者把握 ・競技方法の検討 (例)グランドゴルフ 	<p>◆小運動会 2022</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容を検討 ・子ども、大人の意見を聞く ・種目の内容検討 	<p>◆小運動会 2023</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容を検討 ・定着にする
		参加目標 50人	参加目標 100人	参加目標 200人



《安全部》

重点取組	①+②+③ 防犯・交通安全に関する活動、学校との連携活動			
活動方針	みんなで「まちの安全のための見守り」に取り組む			
期待する効果	小学校と地域が目的と活動を共有することで、まち全体での子どもの見守り、健やかな成長へのサポート体制を整える一歩になると考える。			
連携する部会等			全部会	
実行計画				
計画年次	2020	2021	2022	2023
取組予定	みんなで取組を出し合っ て見せ合おう	みんなの取組を整理整頓しよう	みんなで一度やってみよう	「旭っ子見守り隊」完成
	◆各団体の取組を棚卸しする ◆安全部として自治会、青パト、民生委員児童委員、学校、町民会議、PTAが集う ◆中学校下校時の安全対策の検討 ◆ゾーン30の運用開始	◆すでに行なっている取組を整理する ◆地域全員で安全の意識を持って「〇〇しながらパトロール」でパトロールする	◆整理した取組をやってみる 防犯パトロール + 交通防犯パトロール + あいさつ運動 + のぼりや腕章 ↑ ↑ ◆「ながらパトロール」 地域みんなに意識を啓発する。	◆関係団体で連携できるように「旭っ子見守り隊」として組織を整理する ↓ 地域全員の「目」で安全を見守ろう！ これぞ「ながらパトロール」

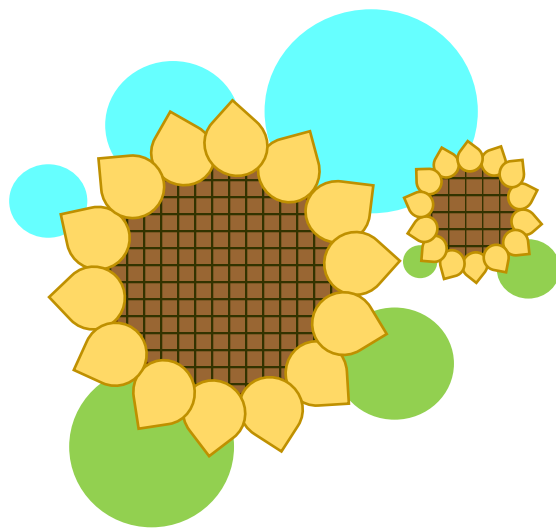
《安全部》

重点取組	④ 防災に関する活動			
活動方針	旭が丘地区防災計画をまとめる			
期待する効果	自治会や各団体・各委員の防災意識の向上と連携の強化を期待することができる。			
連携する部会等	初動隊、自治会、民生委員児童委員	小中学校、自治会	全部会、自治会	
実行計画				
計画年次	2020	2021	2022	2023
取組予定	防災に関する情報を集めよう ◆各取組の内容を整理してみる ・初動隊活動 ・自主防災活動 ・災害時要援護者活動 ・消火器配備 ・地域防災訓練(情報伝達訓練の検討) ◆地区防災訓練をやってみる	防災に関する情報を整理整頓しよう ◆安全部の防災活動をまとめてみる ◆避難経路を確認する(小学校の危険個所マップなどの既存の地図を使って) ◆避難所となる小中学校との連携を考える	計画案をみんなで一度つくってみよう ◆安全部として防災についてのファイルを作ってみる(あるものをまとめる) ◆関係団体の取組の「見える化」(今やっていることを把握する)	地区防災計画にまとめよう ◆地域全体に防災の取組を知ってもらう ↓ 地区防災計画が地域全員の手に渡れば「何かあった時に少しでも助け合えることができるかも」



=== 地域計画策定ワークショップの様子 ===





発行

旭が丘地区まちづくり協議会
総務・広報部